

広報

# えびな

9/1号

編集・発行 海老名市役所 市長室  
〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1  
☎046(231)2111(代) ㊚046(233)9118  
HP http://www.city.ebina.kanagawa.jp

「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。

☎ 同センター (☎237・3001)

世帯と人口(8月1日現在) 世帯 49,737 人口126,751人 男64,479人 女62,272人



完成イメージ

# 消防北分署を移転

平成21年11月に開署予定

## 新北分署の概要

- ◇所在地 上今泉 6-341-2 (北部公園に隣接)
- ◇敷地面積 2,244 m<sup>2</sup>
- ◇建物概要 鉄筋コンクリート2階建て  
建築面積 871 m<sup>2</sup> 延べ床面積 1,232 m<sup>2</sup>
- ◇配備車両 消防ポンプ車 1台  
高規格救急車 1台  
15m級はしご車 1台

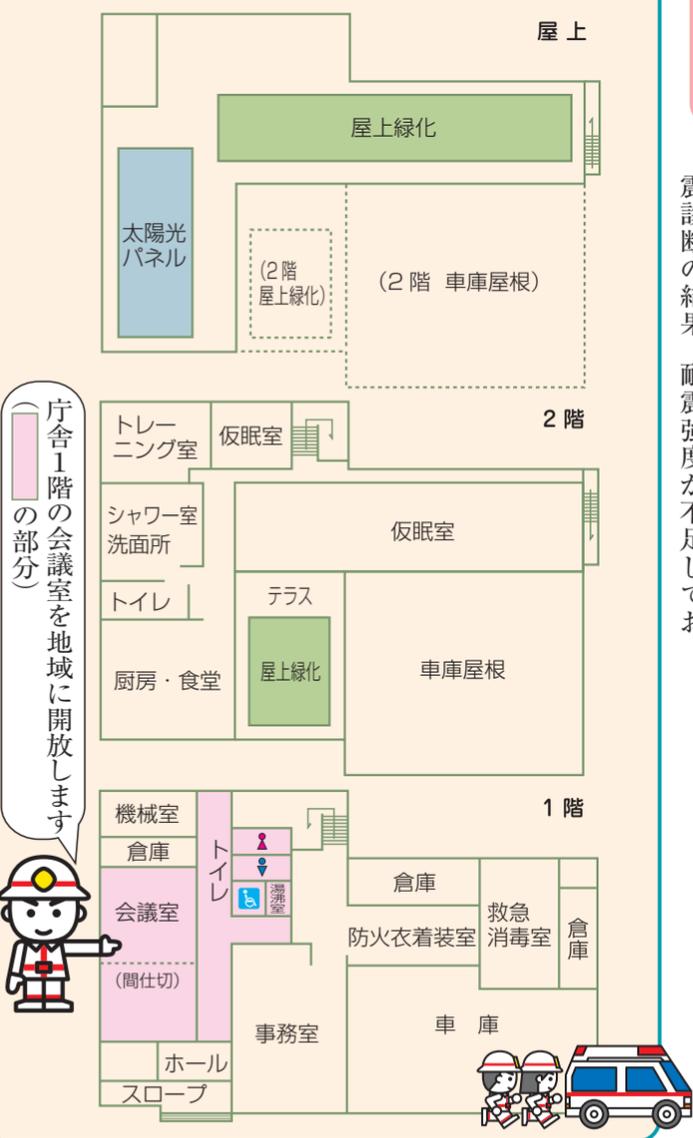


## ◎ 施設の特徴

- 太陽光発電施設** 年間約9600kwhの発電能力があり、石油換算で年間約2100ℓの削減になります
- 屋上緑化** 約170m<sup>2</sup>の屋上に芝生や低木を植えることで、夏期の建物温度上昇を緩和します
- 雨水利用施設** 敷地内の地下に雨水をためて、屋上緑化の散水やトイレの流水に利用することで、上水道使用量を年間約900m<sup>3</sup>削減できます
- 風力・太陽光併用屋外照明** 敷地内の屋外照明(3基)を、風力と太陽光で発電する照明にします
- 会議室の開放** 会議室(90m<sup>2</sup>、定員48人)を地域の方が利用できるように開放します
- バリアフリー** 車いすの方でも利用しやすいように、スロープやバリアフリーのトイレを設置します



## 平面図



## 北部地区の災害対応拠点に

市では、南北に長い海老名市の地形や人口バランスを考慮し、消防署を本署(所在地Ⅱ大谷)、北分署(同Ⅱ柏ヶ谷)、南分署(同Ⅱ上河内)の3カ所に設置しています。

現在の北分署は、昭和54年の開署以来、市内北部地域における消防活動の拠点となっています。

しかし、平成17年に実施した建物の耐震診断の結果、耐震強度が不足してお

市では、火災や救急・救助に迅速に対応するため、消防設備等の整備を進めています。今回は、大規模災害発生時に市内北部地区の対応拠点として機能する、消防署北分署の移転整備について紹介します。



全国消防イメージキャラクター 消太

## 環境に配慮した設備 会議室を地域に開放

新しい北分署は、上今泉6丁目に建設します。現在の北分署の西約500mの位置で、北部公園に隣接しています。建設工事は今月下旬に開始し、平成21年11月の開署を予定しています。

同署は、地球環境に配慮するため、太陽光発電施設を設置するほか、屋上緑化や雨水利用施設、風力・太陽光併用屋外照明の設備を設置します。

また、1階にバリアフリーのトイレやスロープ、会議室を設け、会議室は地域の方に開放します。

なお、消防車両は、現在の消防ポンプ自動車、高規格救急車に加え、マンションなど中高層建物の火災に迅速に対応するため、15m級はしご車を配備します。

☎ 消防総務課(☎231・5153)。